

信濃川大河津分水 あんなこと！こんなこと！

～信濃川治水紀功碑 碑文の峰山藩についての疑問～

資料館の前に信濃川治水紀功碑が信濃川上流に向かって建っている。分水路工事の功を讃え、通水2年後の大正13年甲子の年に建立された。因みに阪神甲子園球場も同じ甲子の年に竣工している。甲子園と名付けられた所以でもある。

紀功碑の碑文の五行目の中間あたりに「新發田藩先訴之越後府々令高崎與板村松峰山三日市村上六藩徵其意見」とある。現代語訳は「新発田藩は先ず水害の実態を越後府に訴えた。越後府は高崎、与板、村松、峰山、三日市、村上の六藩に命令し、意見を求めた。」ということである。この文面の背景は明治戊辰の年、明治元年に信濃川が決壊し、大洪水となり、古志、三島、南蒲原、中蒲原、西蒲原の五郡の惨害が殊に大きかったので、越後府が六藩に対し意見を求めたという文脈である。

この六藩の中に「峰山」とあるのを見て、覚えのない漢字表記の藩名で目を疑ったのである。「みねやま」の読みからして「三根山」と表記されるべきではないのかと一瞬頭をよぎった。明治戊辰の年の越後には「三根山藩」はあっても「峰山藩」は存在していないはずである。

調べたところ、この「峰山藩」は京都の丹波の藩であり、越後国の領地を飛地として治めていたという記録や資料は見当たらないのである。

江戸時代末期、越後国蒲原郡三根山(後の西蒲原郡巻町峰岡、現在の新潟市西蒲区峰岡)に「三根山藩(みねやま藩)」があった。

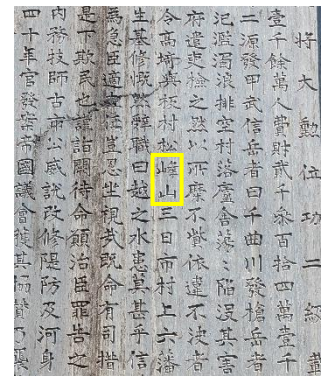
この「三根山藩」は長岡の「米百俵」物語に登場する「三根山藩」である。「三根山藩」が長岡藩の戊辰戦争後の窮状に対して米百俵を送ったという話である。

「三根山藩」は長岡藩の初代藩主牧野忠成の四男定成に分家したのに始まる。因みに次男康成は分家し与板藩を立藩している。

その「三根山藩」はなぜか明治3年に藩名が京都丹後の「峰山藩」と読みが同じく、紛らわしいため、地元地名の峰岡に因み「峰岡藩(みねおか藩)」に改名させられている。

碑文の「峰山藩」は京都からは遠い越後国に飛地の領地を治めていたという資料は見当たらないが本当に治めていたのか。それとも碑文撰文者の方が「三根山藩」と記すべきところを「峰山藩」と誤記したのか、どちらとも言えず不明である。いずれにしても双方ともに確たるエビデンスが見当たらない。

「三根山藩」が「峰岡藩」と改名させられていることからすると誤記の可能性が高いと思われるが。誤記か否か、なかなか疑問符が消えない碑文の中の文字「峰山藩」である。



イベント報告

ガイド研修

【第2回 AED取扱訓練】

○日時: 令和8年4月23日(水) 13:30～14:30
○場所: 信濃川大河津資料館2階多目的ホール
○参加者: 6名

AED(自動体外除細動器)の取り扱いと緊急時の対処法を、ALSOKの方から教えていただきました。いざという時に適切な対応ができるように、手順を確認しました。



【第3回 避難・消火訓練】

○日時: 令和8年6月6日(土) 9:30～10:15
○場所: 信濃川大河津資料館
○参加者: 13名

資料館内から出火したと想定し、初期消火、消防通報、避難誘導を訓練をして、その後、消火訓練を行いました。焦らずに、落ち着いて無事に来館者を避難させることができました。



クリーン作戦・庭木の剪定

○日時:令和8年6月6日(土) 10:15~12:00

○参加者数:11名

第3回ガイド研修の後に、会員の皆さんからご協力をいただき、資料館周辺～本川橋下流までのクリーン作戦と、資料館敷地内の剪定を行いました。日差しはそこまで強くはなかったですが、屋外にいと蒸し暑く、作業は大変でした。そんな中でも、皆さんの手際のよい作業のお陰で予定通り終えることができました。ありがとうございました。



水辺の生き物観察会

○日時:令和8年6月27日(土) 9:00~10:30

○参加者数:35名

※7月26日(日)は荒天の為、中止

第1回目は天候に恵まれました。常連さんは慣れているので躊躇なく川に入って生き物を捕り、初めての方は怖がりながらも少しずつ慣れてエビ等を捕まえられるようになりました。楽しいと言って喜んでいる姿を見ると嬉しくなりました。第2回目は大雨警報が出たので残念ながら中止となってしまいました。



イベント案内

水辺の生き物観察会

共催:NPO法人水環境技術研究会・Love River Net

大河津分水公園の人工水路で川の生き物を捕まえて観察して学べる『水辺の生き物観察会』今年度最後の回になります。参加希望の方はお早めにお申込みください。(事業部)

◇日時:令和8年9月27日(日) 9:00~10:30

◇定員:20名程度(定員になり次第締め切ります)

◇参加費:無料

◇集合:信濃川大河津資料館

◇場所:大河津分水公園 体験水路

◇持ち物:魚捕りの網、バケツ等、水分補給の飲み物

◇服装:濡れても良い服装、運動靴もしくは脱げないサンダル、帽子

◇申込締切:各日開催の5日前までに事務局(080-9876-3673)へお申し込みください。

*小雨決行。天候により中止になる場合は前日までにご連絡します。



資料館周辺施設巡り

石碑でたどる大河津分水(約1km)

石碑から紐解く大河津分水の歴史。ナビゲーターが詳しく解説します。

◇日時:令和8年9月19日(土) 10:00~11:30

◇ナビゲーター:和田 幸蔵さん

秋の大河津分水歴史探検～新旧洗堰～(約1.5km)

100年以上前の堰や現在の堰、堰の操作室等をご案内します。

◇日時:令和8年10月4日(日) 10:00~11:30

◇ナビゲーター:柳 正市さん

秋の大河津分水歴史探検～新旧可動堰～(約1.5km)

大河津分水の歴代の堰を間近で見学できます。

◇日時:令和8年10月24日(土) 10:00~11:30

◇ナビゲーター:武田 義信さん

*天候等の状況により、コース内容・見学場所が変更になる場合があります。

*動きやすい服装、靴、雨天時の雨具(傘・カッパ等)の準備をお願いします。

*水分補給は各自でお願いします。



○参加費:無料

○定員:各回15名(定員になり次第締切)

○お申込み:事務局(080-9876-3683)

🎁 全コースお土産付きです!

【会員限定】 県内河川探訪 日帰りバスツアー

今年度の県内河川探訪は『福島潟(放水路)と新発田の歴史・文化巡り』です。1966年の羽越水害を機に計画され、2003年に完成した「福島潟放水路」の管理棟や堰といった施設をはじめ、新発田市内の「蔵春閣」や「清水園」を訪ねます。(事業部)

- ◇日時:令和8年10月5日(月) 8:30~17:30
- ◇参加費:ひとり2,000円程度(昼食代)
- ◇定員:25名(定員になり次第締め切ります)
- ◇訪問先:◎福島潟放水路管理所(新潟市北区横土居)
新潟県職員の方からレクチャーあり
◎福島潟(新潟市北区前新田)
レンジャーガイドによるネイチャーガイドあり
◎蔵春閣~清水園・足軽長屋(新発田市)
施設内ガイドあり
【昼食】ほうせい丸(聖籠町)

◇申込み:9月16日(水)までに、事務局(080-9876-3683)へお申込みください。

- *動きやすい服装、靴、雨天時の雨具の準備をお願いします。
- *水分補給は各自でお願いします。
- *参加者へ行程表等の詳細を別途お送りします。



蔵春閣 ↑



↑福島潟放水路:大雨が降り、福島潟の水位が高くなった時に、洪水の一部を分水し、新潟東港を経由して日本海へ放流するために開削した放水路。



↑清水園 足軽長屋

画像:新潟県HP、新発田市HP、北方文化博物館HPより

【会員限定】 大河津改修現場見学会

大河津分水改修事業『令和の大改修』の現場見学会を開催します。信濃川河川事務所の方からご案内いただく貴重な見学会です。会員限定ですので、この機会にぜひご参加ください。(事業部)

◇日時:令和8年10月19日(月) 13:00~15:00

◇参加費:無料

◇見学場所:◎にとこみえ〜る館

◎新野積橋

◎山地部掘削



◇定員:40名(定員になり次第締め切ります)

◇申込締切:10月10日(土)(準備の都合上、早めのお申込みをお願いします)

◇申込先:事務局 080-9876-3683

- *天候等によりコースが変更になる場合があります。
- *動きやすい服装、靴、雨天時の雨具の準備をお願いします。
- *水分補給は各自でお願いします。
- *参加者へ行程表等の詳細を別途お送りします。

同日開催

見学会後に『信濃川教養講座 横田切れ130年』を開催しますので、引き続きご参加ください。

信濃川教養講座 『横田切れ 130年』

大河津分水改修現場見学会の後、信濃川教養講座を開催します。

今年は「横田切れ」から130年の年ということで、会員の樋口さんからご講演いただきます。当時の貴重な資料や記録等を交えながら、詳しい内容をお話いただきます。この講座は一般公開で開催します。多くの方のお申込みお待ちしております。(事務局)

◇日時:令和8年10月19日(月) 15:15~16:15

◇会場:信濃川大河津資料館 2階多目的ホール

◇参加費:無料

◇定員:40名(定員になり次第締め切ります)

◇申込締切:10月10日(土)(準備の都合上、早めのお申込みをお願いします)

◇申込先:事務局 080-9876-3683

【講師】樋口 勲さん

(会員・信濃川大河津資料館コーディネーター)

【演題】『横田切れ 130年』

*開場は15:00からになります。

15:00前は資料館に鍵がかかっていますので、15:00以降にご来場ください。

環境整備事業 庭木の剪定

資料館敷地内の木の剪定や剪定くず集め等と、プランターを整備作業を行います。ご協力いただける方は事務局(080-9876-3683)へご連絡ください。剪定されたことのない方でも作業できますので、未経験者大歓迎です。(支援部)

◇日時:令和8年10月3日(土) 9:30~11:30

◇集合:信濃川大河津資料館

◇持ち物:手袋、剪定道具がある方はご持参ください



信濃川・大河津分水 写真コンテスト作品募集!!

越後平野に恵みをもたらす信濃川、私たちの暮らしを守る大河津分水について、その魅力を広く紹介し、信濃川の治水事業、環境保全等の必要性をより身近に認識して頂く機会として、信濃川と大河津分水を題材にした写真を募集しています。詳細は信濃川河川事務所HPをご覧ください。

【部門】信濃川下流部門・信濃川中流及び魚野川部門・大河津分水部門・学生部門(25歳以下)

【応募対象】一般(ただし、アマチュアに限る)

【応募期間】令和8年7月1日(水)～10月2日(金)まで必着

【応募先】信濃川河川事務所 流域治水課(〒940-0098 長岡市信濃1-5-30)

新潟フジカラー取扱店

WEB作品専用応募サイト



WEB作品専用
応募サイト



主催 信濃川改修期成同盟会、信濃川・中ノ口川治水事業促進期成同盟会、大河津分水改修促進期成同盟会、

信濃川河川事務所、信濃川下流河川事務所、NPO法人信濃川大河津資料館友の会

後援 新潟日報社、(株)新潟フジカラー、長岡造形大学、新潟県写真家協会、新潟カメラ写真事業協同組合、(一社)北陸地域づくり協会

 令和7年度の入賞作品全22点が信濃川大河津資料館の階段踊り場に展示されています。素晴らしい作品の数々を、ぜひご覧ください。

特別展「横田切れ130年」開催中

明治29(1896)年に発生した横田切れから130年となることを踏まえ、当時の気象状況や浸水エリアなどに関する資料が展示されています。横田切れにまつわる書籍や当時の雨量も紹介されています。

【展示期間】 令和8年7月4日(土)～9月6日(日)

【展示会場】 信濃川大河津資料館 2階企画展示スペース



主催:信濃川河川事務所

「昆虫標本」展示中

資料館1階に昆虫標本が展示されています。普段、見えにくい角度からも観察できます。

【展示場所】

信濃川大河津資料館

1階ロビー(水槽の近くにありますが)



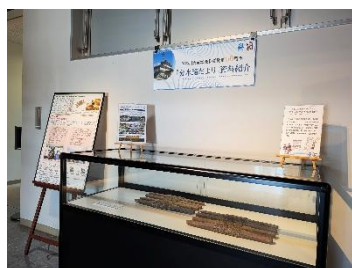
主催:信濃川河川事務所

収蔵資料展示

令和10年に信濃川大河津資料館が開館50周年を迎えるにあたり収蔵する資料が紹介されています。毎月発行されている分水路だよりの「シリーズ:信濃川大河津資料館収蔵資料」で紹介した資料を月ごとに展示。普段は展示されないことない資料が詳しい解説とともに見れるコーナーです。詳しい解説毎月変わる貴重な資料をぜひ、ご覧ください。

【展示場所】 信濃川大河津資料館 1階ホール(入口入って正面にあります)

主催:信濃川河川事務所



信濃川の仲間
河川協力団体



河川協力
団体

国土交通省



流域治水

流域治水オフィシャル
サポーター



NIPPON
防災資産

随時
募集中

友の会会員の皆様へ

資料館ガイドを一緒にしませんか?

資料館に来られたお客様に大河津分水の魅力を伝えるガイドをしてみませんか?大河津分水について学びながら、一緒に盛り上げていただける方を大募集しています。未経験の方でも大丈夫です。研修をしながら徐々に慣れていただきます。ちょっとでも興味がある方は事務局へご連絡ください。1回/月から調整させていただきます。

【事務局連絡先】

〒959-0123 燕市大川津1215-7

【TEL】080-9876-3683(事務局)

【FAX】0256-97-3682

【Mail】ohkouzu_tomonokai@yahoo.co.jp

【ホームページ】https://ohkouzu-tomo.org/

【Facebook】

https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/



友の会HP